



## 2. 科目履修上の注意

## 全学共通科目について

---

「全学共通科目」は、全学部・全学科に共通して開講される科目であり、「共生の理解」「スポーツ・日本文化」「キャリア」「日本語」「外国語」「人文」「社会」「自然」の各分野の科目から構成されます。これらを通じて、主に勤儉誠実の信念と共生き（ともいき）の理念及び総合的教養を身につけます。

- (1) 「共生の理解」では、必修科目として「共生人間論Ⅰ・Ⅱ」、その他「共生人間論実習」を配置し、仏教の立場から「共生き」について考えます。環境や他者の存在により自己が活かされていること、自己中心的な在り方の反省、自己能力の惜しみない提供、相互補完の精神などを学びます。
- (2) 「スポーツ・日本文化」では、「スポーツ」の実技授業として、バドミントン、テニス、バスケットボールなどの種目を開講し、これらを通じて、健康づくりの習慣、自己管理能力・チームワーク・勤儉誠実・共生きなどの態度を身につけます。また、「日本文化」の実技授業として、書道、茶道、華道、舞踊、幅広く歌舞伎、陶芸などを開講し、これらを通じて、総合的教養を身につけるとともに、日本の文化、思想、歴史について幅広く理解します。これらの科目には定員があるため、抽選エントリーを行います。抽選結果により履修登録を行ってください。
- (3) 「キャリア」の分野では、「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」（必修）、「キャリアサポートⅠ・Ⅱ・Ⅲ」を1年次から3年次まで継続的・体系的に開講し、これらを通じて、幅広い総合的教養、コミュニケーション・スキル、論理的思考力などを身につけます。また、3年次には「キャリア実践研究」「キャリア実務演習」を開講し、これらを通じて、専門的職業人としての倫理観・使命感・責任感、及び社会に適応し、その一員として社会の発展に貢献する態度を身につけます。さらに、「情報リテラシーⅠ・Ⅱ」を開講し、情報通信技術を用いて、多様な情報を適切に取捨選択し、分析活用する技能を身につけます。
- (4) 「日本語」の分野では、「日本語表現法 A(音声)」「日本語表現法 B(文章)」を開講します。これらを通じて、日本語を用い、的確に読み、書き、聞き、話す技能（コミュニケーション・スキル）を身につけます。
- (5) 「外国語」の分野では、「総合英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」（Ⅰ・Ⅱは必修）、「英会話Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」（Ⅰ・Ⅱは必修）、「基礎中国語Ⅰ・Ⅱ」を開講します。これらを通じて、外国語を用い、的確に読み、書き、聞き、話す技能（コミュニケーション・スキル）を身につけます。
- (6) 「人文」の分野では、「哲学」「倫理学」「心理学」「日本史」「世界史」「日本文学」「外国文学」「異文化理解」「日本文化論」「仏教文化史」を開講します。これらを通じて、総合的教養を身につけるとともに、多様な文化、思想、歴史について幅広く理解します。
- (7) 「社会」の分野では、「憲法と基本権」「社会生活と法」「暮らしと経済」「市民生活と政治」「社会の成り立ち」「高齢者と福祉」「国際事情」「社会保障論」「社会と福祉」を開講し、これらを通じて、幅広い総合的教養を身につけるとともに、社会と人間とのかかわりを総合的に理解します。
- (8) 「自然」の分野では、「健康と運動」「生活と環境」「自然と環境」「生命の科学」「生物学Ⅰ・Ⅱ」「化学Ⅰ・Ⅱ」「物理学」「数学」を開講します。これらを通じて、幅広い総合的教養を身につけるとともに、自然と人間とのかかわりを総合的に理解します。

# 心理学科科目について

---

## 基礎演習

基礎演習は、1年次に基礎演習Ⅰ・基礎演習Ⅱを、2年次に基礎演習Ⅲ・基礎演習Ⅳを履修するように構成されています。これらは、大学での学習全般および心理学の習得に必要な基礎的内容を学習する必修科目です。本学の理念である共生の精神を基盤とし、心理学への興味を高め、大学に必要なさまざまな学習スキルを修得するための基本的な学びを展開していきます。比較的少人数で編成されるゼミが学習の基本単位となります。

基礎演習Ⅰでは、4年間の大学生活の基礎を学ぶとともに、心理学の方法論の初歩を学びます。大学生活の基礎としては、本学名古屋キャンパスの施設紹介にはじまり、大学での勉強の仕方、特に、レポートや論文の書き方、情報検索の方法などについての基本を学習します。また、卒業後の進路についても、説明会などを開催し、心理学科の学びの特色とともに将来の進路・キャリアについてもじっくり考えていただきます。

基礎演習Ⅱでは、基礎演習Ⅰで身につけたことを基礎とし、心理学に大切なレポート作成、文献検索、特にプレゼンテーションの方法をさらに深く学んでいきます。

基礎演習Ⅲ・基礎演習Ⅳでは、3年次からの総合演習への導入をおこないます。主に心理学に関するより専門的な文献を読んでいく演習が中心になります。また、3年次からの専門ゼミ（総合演習）の選択のために、2年次の最後に各専門領域およびゼミについての紹介もあります。

基礎演習ⅠからⅣでは、各ゼミ単位の少人数で行われる学習のほかに学年全員が一つの教室に入って学習する授業も設定されます。

## 総合演習

3年次から始まる総合演習は、各教員の専門分野を中心に指導を受ける科目です。各自興味のある課題について調査・研究し、ゼミで発表する過程を通じて卒業論文へと発展させていく重要な演習となります。卒業研究では、それまでの学習で培った総合的な能力を具体的に表現し確認する作業が課されます。

原則として各ゼミ15名以下で編成します。所属するゼミは選択できますが、総合演習Ⅰ・総合演習Ⅱ（3年次）と総合演習Ⅲ・総合演習Ⅳ（4年次）は、原則として同じゼミとなります。

## その他の注意事項

出席、試験方法、評価方法などは科目担当者によって異なる場合があります。「授業概要」に記されていますが、わからないときには必ず教務課または科目担当者に相談してください。